以 ナ 所

F ŋ ガ

個

叉 Ш 相

此

等 皆 再

內

個 ダ 稚

二百 ラ

來 iv 候

ा音

火 瓜

錄

眲 ナ

膫

ナ

モ

現

在

Æ =

デ

其 千 ラ

殆 他 米

ナ

レ

瓜

盽

高 林

岩

1

水 跙

Ш 幼

力 =

7 氣

哇 高

ハ =

主 進

IV テ

火

Ш ٤

ガ

三十 及

> 座 發

7 達

'n

其 中

> 內 植

ハ ガ

高

二

ナ

N

ŀ

ガ

Ľ"

館

ナ

IJ

ŀ

標

ŀ

思

切

IJ

能

ク

≥⁄

ヌ

生

見

Æ

泉 1

Y Æ N

瓦

斯 ガ ソ オ

ナ

F,

=

活

動

餘

ヲ

テ

居

n

 $\widehat{5}$

此 年

Ш

南 記 =

至

度

間

ヲ Ŀ"

東

西

不 活

規 動

則

羅

列

₹⁄

テ

高山 植物 植 物幣

來 ダ 短 モ げ 1 且 ハ サ 莖 ば 細 1 h テ 力 基 二 部 ナ Cladonia 分枝シ其先ニ 1 太 サ ハ jν 屬 ___ 今 黑 3 囘 Clathrina **...色細微** 前 君 ナ子子 ヲ 超 亚 肥 一器ヲ着 工 屬 後 ナ イ 毛 0 ガ゛ け テ 有 デ Ż 学器 其茎 居 1 枝 岳 軸 孔 於 太サニー ガ テ 有 ァ 子 n 1 ボ 特 Æ Ē 徵 1 デ ヲ ア 採 n 集 = サ 普通 及 ピ タ 枝 ے 1 1 7 デ 先 N r端 無 n 子 ガ 急 器 元

ヶ

ノ髙山 植 物 ŀ 植

ク

ッ

學博 郡

寬

調 ナ カ ラ 耕 3 本 瓜 作 杳 ワ ヌ 盽 **≥**⁄ ッ 3 デ テ 處 ガ ij 1 テ 居 Ш Y A. ハ ハ Æ 題 n 千 滛 力 ケ 來 口 花 米 E = w = ガ 1 見 植 チ 1 以 名 H 物 ボ ヂ ラ デ F. ィ 本 ァ 1 \overline{H} + V 3 ダ 白 w w 山 水 IJ ン 七 利 ス 森 デ Æ + 紀 林 稠 ソ 例 Æ 念 Ŧi. 址 3 密 ン 林 種 バ 坊 ク デ ゲ 其 Ħ. 低 \mathcal{T} 主 ナ ハ 内 デ 地 " 樹 七 耕 \bigcirc 1 固 Ш テ 木 兀 米 Ш 有 地 地 平 七 前 腹 百 二 地 六 年 後 ノ セ ハ ハ + チ ラ ー 殆 噴 五 1 ナ ボ 林 F V 火 ŀ" ĵ ト|||ク 田 旣 デ ダ 灌 サ 畑 木 其 樹 ス y = 力 ニ 紀 草 Ŀ 種 無 1 ボ ナ 本 方 念 デ ッ = ク ッ 富 保 ナ 1 ヲ ハ テ 百 傷 存 仕 3 ŋ 原 Ŧ 五. メ 且 林 ١,٠٠ 舞 ラ 米 ッ 始 ラ Ł 蔓 林 位 ゴ 丘 藤 生 タ 四 迄 L 陵 着 開 本 ガ 只 \bigcirc デ 其 生 0 高 墾 Æ + デ 米 田 サ Ш 種 モ 物 以 規 毎 v 7 デ Ŀ 山 テ 那 大 Koorders 居 滿 n 腹 ナ 水 F. 千 田 サ ~ N $\widehat{3}$ ヌ 米 ボ V グ 以 ヌ 暖 仕 ナ 氏 旺 ン Ŀ ッ イ 立 盛 ŀ 未 1 テ テ ダ ラ 九 ゥ デ 居 ナ 降 N 此 w 手 四 邊 處 Щ ায় 迄 林 腹 處 车 ガ H ヲ æ

大

體

付

才

ヌ

形

デ

7

n

ラ

ズ

開

花青

ij

叉

ド山脈ヲナサズ個々聳立シテ居ル

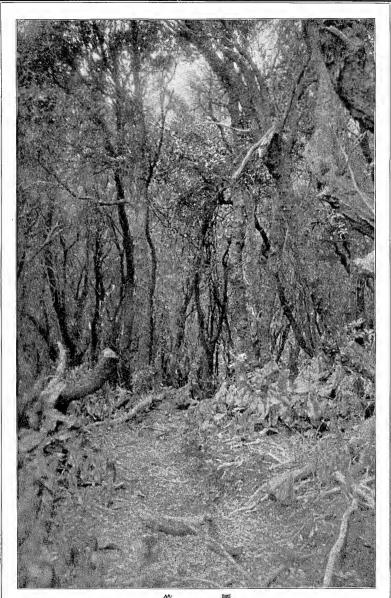
瓜 原 疎 在 ス 始 ŋ 林 n N 哇 其 林 + ŀ ハ Ŀ ナ ŋ ソ 雨 , 1) ~ ガ゛ 地 登 デ 彩 ン 百 衣 ヂ イ jν 帶 米 體 = ャ 從 ガ ナ 尤 D 雪 樹 ラ Ŀ モ 線 林 丽 ハ 低 迄 昇 植 地 界 達 增 生 殊 限 3 加 0 1 = 島 シ 米 發 テ 其 居 テ 達 1 樹 東 ゔ゙ 上 ヲ n 9 林 例 Ш ハ 半 灌 モ = 頂 = 木 密 汔 ŀ ハ 草 此 = 旺 乾 w 本 燥 Щ ナ ŀ 帶 IJ 此 デ 期 ハ 第 7 デ デ ٠, 雲少 ァ n ハ 期 亢 低 べ N 百 地 # 7 時 73 代 雨 乃 筶 高 ハ 至 禾 = æ デ Щ 三千 出 本 ァ ハ 米 N 皆 來 , 乾 以 米 雲 上 燥草 內 ッ ヲ 處 比 起 タ = 古 減 原 較 ハ **≥**⁄ 雨 1 ズ 1 雨 爲 量 千 火 N ヲ 山 ガ 车 百 邼 メ 兀 7 デ = 米 > 千 米 以 デ 7 フ iv 五. = Ŀ IJ 聕 百 Æ 力 力 ハ = ラ 達 果 東 米 植 迄 樹 ス 側 濕 帶 顟 N 鼠 南 度 雲 花 式 緯 = 推 植 霧 Æ 帶 乾 度 移 物 飽 Æ ガ 燥 = 和

地 所 山 積 ゔ゚ ヲ 百 Casualina 占 ジ 有 7 熱帶 シ テ 居 デ 林 7 IV IJ コ ナ ナ ŀ ŀ ガ Æ ラ 炒 ソ ク 瓜 ゥ ナ 哇 デ ィ 1 7 Ш n 例 R = バ 刄 Ш ン 頂 附 7 バ 近 > 1 ブ 植 ラ 生 フ ガ 頗 1 jν 逆 幼 舟 稚 Щ デ 種 意 類 Æ 炒 ŋ Vaccinium 只 種 叢 植 物 林 ダ テ ケ ン デ ガ 廣 1 1

米 謂 遊 varingiifolium 上 舟 E 噴 = 離 長 火 Щ 徑 \Box ハ 陌 ダ 植 處 物 瓜 \neg デ 哇 + M_{1Q} . 筆 ハ バ U 高 頭 ン 半 ŀ サ デ 乏 ァ ; ン त्ता ッ ヲ 火 テ 玆 П 北 = ガ 直 8 瓜 7 + 哇 斡 IJ Ŧi. 樹 今 此 酢 形 デ キ Ш ヲ デ 木 Æ p ナ 亞 火 假 シ 硫 = 稱 口 酸 在 第 ス iv 圖 內緣 n 匂 \bigcirc ガ 迄入込 夕* 八 其林下 ス 四 ケ n デ • 米 ァ 3 = 其 jν 活 口 處 火 ひとつばこ 瓜哇酢. 山デ デ 周 バニ米 圍 最 一デ見 木 近 位 似 ハ ラ 亞 噴 v テ 灌 硫 火 稍 n 酸 木 植 /t デ 7 大 物 九二 酸 7 キ 性 N 殆 ィ 土 ガ 羊 **|*** 壤 火 年 鹵 デ 口 Vaccinium Pleopeltis力 堪 7 ラ 一 w w 百所 頂

實 結實ガ季節ヲ ヺ ⋖ ダ 枝 瓜 4 哇 追 性一葉が大七半 黑 アテ年 實 ŀ 枝 假 囘 ナ 稱 F., デ ろし ガ ア 雜 ダ n ガ 多 ケ = ガ 出 目 テ = 居 兄弟 着 N " 叉面 日 其 ヵ 本 白 车 1 中 し イ 事 枝 Þ 力 = ラ Þ ハ 瓜哇 枝 h ぼヤ ŀ 交代 酢 5 木 · j 枝 テ 0 居 Ł = \exists ハ 常 ij 今 綠 瓜 開 哇 落 花 酢 葉 木 **≥**⁄ テ 如 此 何 w Щ =

拘モ



タンクパンプラフー火山ノ Vaccinium varingiifolium Mrq. ノ叢林

モ邊但ルクガ植他クニガ居シ分邊〇七方ハノノ此、ナ多物ノ程行下ルテ布迄米〇一下

內

ッ

ラ

溫

也

ラ

sessilifolia (はひのき屬) デアル、又草ニハすゞめのかたびら、ぎゃうぎしば、ちどめぐさ、 theria fragantissima et leucocarpa(あかもの屬)等ノ灌木デアル、 rugosa(ふかのき屬)、 デデ只 Histiopteris incisa(ゆのみしだね屬)及ビひかげのかづらガアリ後者ハ火口ノ內壁迄 Embelia coriacea(おんせうもどき屬)ガ瓜哇酢木ニ生ヒカヽッテ居ルダケデア ŀ., 濠洲 ナド Litsea citrata (はまびは屬)、Elaeocarpus acronodia 等ノ樹木 Melastoma setigerum (のぼたん屬)、Rubus elongata (いちご屬)、 共通ナ屬 ノモ ノデア N, 其主ナ Æ くろがや・ 此等ハ瓜哇其他 Eugenia striata (ふともも麗)、 羊齒門ニ (ほるとのき屬)、 ノ高山ニモ見ラレ ハ前記ノ瓜哇一葉ノ 進ンデ居ル、 Symplocos レルモノ ハ外

來私 上附近ハ 更ニ下ルト熱帶樹種ガ殖エ森林モ密、灌木草本藤本共ニ豐富ニナリ降雨林式ニナルハ言フ迄 ハ其デー度登リ又其前ニ飛行機デモー度火口ヲ一周鳥瞰シタ、飛行機デ見ルト山腹ニ在ル Alsophila, Dick-ナドノ木生羊齒ガ丁度ちゃうちんごけデモ立並ンデ居ル様ニ見エルノガー與デアル、 ジ跡 メテ單調 能 ク生 デアル、ソシテ其植物ガ大抵我邦ノト共通屬デアルコトモ 出スサウデアル 4 面白イ、此山ハ最近自動車 此等木生羊齒ハ山 モナ ノイガ 兎 道 ガ角田

次ニテン ナリ火口 氣溫 カッ 現在 想定 ガ 年平均 1 噴烟 タとこ 乜 ガ 領 原 Щ ì シ レテ居ル ハ長徑 Щ 1 北腹ニハ テ居ルブロモ火山 五. やし ハ東瓜哇 一九度 ルガ其後 思 ガ 七「キロ」ノ砂 ナク F | ハレヌ程 デ然カモ季節的變化 スラバヤノ南二十餘里ノ サリー ナリ次デ砂糖椰子ガ 噴火ニョリ破壊セ ノ清凉郷デア (一八〇〇米) (二三九〇米) 原 ŀ ブ ロモ ガ ラレ今デハ 消エ最後ニばななガナク ナク大體東京京都五月初旬 ト云フ有名ナ避暑療養地 ノ名デ通 處 こ在 帶ノ花卉蔬菜果樹 ŀ ッ ク其他 ッ jν 直徑十 火山 ・テ居 デ 有史前 孫 キロ 火 モ栽培 Щ ナ ガ ŀ ノ外輪・ 'n 頃 ァ ヲ Щ 有 jν 氣候ニ當リ、 路 ス 四 迂 N 麓 Щ ・テ居 異形 廻 千米ニ カ ガ最 ラ シ テ此 登 高 ラ山 jν モ **(約** 町 書暑ク夜寒 = ニナリ 從 v タ廣 達ス Ł 七〇〇米) 先ッ (1) 其名 N 大 路 ナ火 1 此處 = Ш =

ノ高山植物ト

叫

高

Щ

モ

ケ H

ッ

テ

ヲ

ッ 瓜

テ 哇

種端

≥⁄

節

力

IJ

適

ガ

本

ガ



剱 _ 高

テンガー山腹ブロモ登山路ノ木麻黃林 (Casualina Junghuhniana Miq.)

タ氣 各地 Mrq. = C. Junghuhniana Mrq.ラ 枝 ラ 丈 デ 所 ÿ ボ 周 + 朝 知 グガ伸 次 ヲ 7 期 顏 ガ 1 始 ラ 出 Satake Studio 1 混 內、 ラ ダ 否 ヲ ガ ス テ居 Щ ジ 育 F, ス ナ サ バ非常 ニ テ居 得 櫻 此 Ш 枯 ク ゥ テ 米附近カラ木麻黄 植 處 地 寒 ズ ٧٠ 差 デ 植 物帶 相 下 ッ イ = 植 ガ 物 イ ア ŀ ヂ 當 7 早 能 同 分 ハ 物 jν E = ッ ŀ ケ H 景 w ŀ ŋ テ ク 氏 先 育 本 カラ 遂 伸 登 テ ŧ 性 Æ 是 云 ッ 灌 談 ナ V = F. 蕾 木狀 植 全體 ŀ テ 四 イ ŀ 如 ハ タ デ サ 居 恐ラク 物 思 何 ガ ガ ガ 歐 充分 瓜哇山地生木麻黄) ŋ ッ ガ \bigcirc 出 六尺 = ガ 日 米 巧 (Casualina 米) 種 1 | ナ 來、 枯 タ レ Ħ 本 各 ナ ガ R 暑 氣 位 1 IJ ŋ 死 寫 jν 力 地 植 田丁 且 斯 候 Æ ク 小 ے ラ 眞 **≥**⁄ 矢張 B 餘談 樣 力 ッ花葉芽様 R Æ サ ナ 桃 訪 タ 勢デ ラ ラ ナ イ ッ 苗 問 デ 耕 ラ 花 montana タ後先 n レ 叉 ヲ 者 Щ ナ 地 h 日 移 テ = 撮 居 迄能 ヲ ナ ŀ イ 李 本 植 力

過

١,

IJ 似

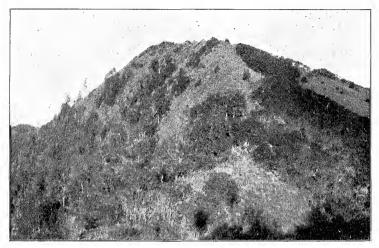
vulgaris L.) デアル其他 Hypericum Leschenaultii (をとぎりさう屬)、 單 テ居ル、着生植物ニハ き、わらびナドモ見ラレ温帶氣分ガ復活スル、又やどりぎ科ノ Scurrula ガ大キナ株ヲナシテ木麻黃ニ寄生シ で)、なちしだ、叉谷合ニハ Urtica grandidentata(いらくさ属)ガアル、叉すゞめのかたびら、 調 ナ 森ニナ (第二圖 Peperomia reflexa(すなごせう屬)其他一二せきこくノ種類ガアル 稀ニはうちはのきノ有毛種 モ混生スル、 路傍ノ下草 Polygonum eaespitosum ハ大部 分ハよもぎ いぬほほづ (ねばりた

ちどめぐさ、Wahlenbergia marginata (ひなぎきゃう魔)、たいわんいぬどくさナドガ順々ニアラハレ、 montana(ねむのき屬)、Sonchus javanicus(はちぢゃうな屬)、 Anaphalis viscida(やまははこ屬ノ灌木)、 Rothina(たかとうだい處)ナドモアル、更ニ登ルト Pimpinella javana (だけぜり屬)、Plectranthus javana longifolium (灌木生ははこぐさ)、Elscholtzia pubescens (なぎなたかうじゅ屬)、禾本ニハ Avena Junghuhnia 木麻黄ハ峠ノ上迄生エテ居ルガ次第ニ疎生シ其間ニ灌木草本ガ多クナル、 たいわんふぢうつぎ、 Gnaphalium ニハ前記ノ瓜哇一葉ガアル やまはくか屬)、Cynoglossum javanicum (おほるりさう屬)、Dichrocephala sp. (ぶくりゃうさい屬)、Albizzia 其間ニ混ジテ Thalictrum javanicum (からまつさう屬)、Rubus niveus (いちご屬)、Euphorbia

ン及ビ瓜哇第一ノ高峯スメルーモ見エテ雄大ナ景色デアル (第四圖)、火口内ハ雨ガ少ク且ツ降ッテモ直グ浸込 峠ノ上カラハ火口原ノ廣イ砂地ガ見エ、 黄、山ねむのき、瓜哇酢木、灌木生やまははこナドガ疎生シテ居ル(第三圖) ムカラ大部分ハ裸地デ砂ハ波立ッテ居リ Sandsea (方言「ダサー」)ト呼バレテ居ル、只降雨ノ際流水スル邊ニ禾 ぎゃうぎしば、Valeriana Hardwickii (かのとおう魔)、Astilbe indica 其右ニハバトック、ブロモ、 ウィドダ (ちだけさし屬) ナドノ間ニ前記木麻 ロ レ ン、遠ク距 チ ララワ

外輪山ノ鞍部ムンガル峠(二四○○米)邊ニナルト Imperata cylindrica (ちがや屬ニテあらんあらんト稱





第 テンガー外輪山ムンガル峠ヨリ東方高地プナンジャアンヲ望ム

海

デ

禾

科 達

Festuca

, nubigena (

うし

ŏ

ラ

本 發

デ 植

ソ

ガ シ 噴 木

割合

3

イ

方 旣

デ

ア

N

 $\widehat{2}$

ガ

タ 火 ガ

ガ

七

モ ヲ

噴

火

ヺ 其

デ

休度

年 降

間礫

消大

小灌

3

ij

降

灰 17

叉 モ

來 V

シ

爲

7

火

Щ

是

デ

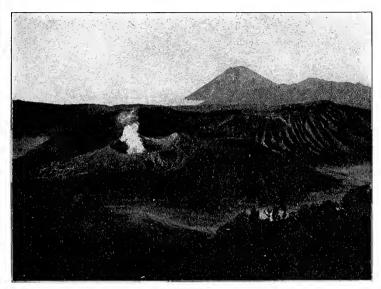
百

每餘

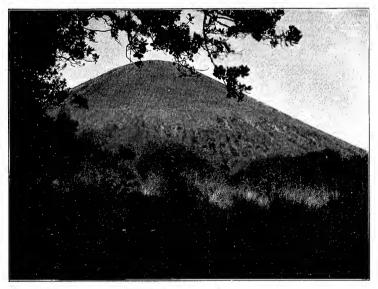
二 年

+

好 本 が 重 北 0 側 南 テ フ 3 \mathcal{U} ガ 面 烟 Ż 殊 ナ テ ガ 15 白 疎 灌 ヲ ヲ ッ| 諸 受 目 生 屬 ボ 北 1 す ク 木 咸 わら 木、 Щ Vř ガ # ケ 側 立 ス **≥**⁄ 禾本 1 テ Ŕ t" 力 ヌ ガ チ Polygonum chinense び、 Щ 居 方 較 ラ ¥ ァ シ 見 デ 我 は 面 ŋ n すげ、 邦 ブ I. ダ 更 は V 絕 Z ナ П め ケ 工. = ŀ, 禾 ソ 滯 み 其 モ峯自身 デ ナ ズ 木麻黄ナド ŀ., 本 ちや 間っちがや、 \mathcal{F} ブ 水 緣 植 地 ガ 12 生 なぎガ ア ŧ = 7 ガ Щ 噴 ナ よもぎガ密 n w ボ 噴 麓 烟 南 Æ **≥**⁄ 生 烟 72 ねずみの 側 ジ どり ラ受ケ ガ゛ 却 主 木 違 = テ居 多 在 叉 麻 テ フ ŀ イ ヲ 植 テ 生 砂 Щ テ 小 生 テ 丘 を 3 テ ୬ Ŀ 形 只 ガ 山ル テ ŀ 居 Ŀ 良方禾ね n 0

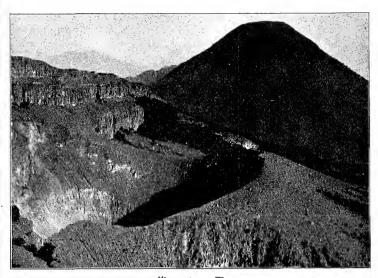


第 四 圖 テンガー山 / 外輪山高地プナンジャアンヨリ南方ヲシュ



第 五 圖 スメルー山=於ケル木麻黄林ノ上限





野 六 凾 ゲデー臓火口東側ヨリ西北西ニ姉妹峰パンゲランゴーヲ蠫ム

火此 跡年九パ 瓜 育 此 ヲ 上 處 五 純 イ 廣 邊 高 圖 ガ ハ デ 山 位 $\boldsymbol{\mathcal{V}}$ ガ シ 標 經 得 米 直 7 サ ゲ = ٧, サ ナ 力 * 迄)、 百 過 ラ 離 旣 1 グ 高 ラ 高 ソ 3 v = ġ 島 植 準 見 五. ン = 火 不 **≥**⁄ iv V 寒帯 佐 山 + 物 冷帶 眀 = 卽 Ξ rt ヌ ゴ デ ヲ ŀ ジテ熱帯 -森 浮 さる 姉 考 竹礫 ナ 车 は 米 1 æ チ n モ 妹拳 內外 前 林 力 少 デ 氏 , jν デ (二五〇〇米迄) 且 談 裸地 を ラ 番 ŀ 7 Æ 7 記 ガ シ 見 其 海 約二 が N 5 デ ヌ ツ雲霧帯ヲ超 高 ス 六() 未 樣 せ ŋ ござさ及ビす 做 w ガ デ ボ メ JUNGHUHN (第六圖 面ョリ六 其 七 登 他 高 米 ガ ダ サ ナ jν 禾本 米) 以 狀 間 斯 サ 1 ッ イ 1 況 高 Ŏ Ŀ 樣 未 爲 テ ボ テ デ 真 居 迄 米) 居 デ ナ Ш ダ ッ メ 及ビ Ŧi. 越 能 地 休 7 7 處 力 テ IJ N 植 〇米迄 草 氏 デ 居 火後 N ラ げ æ 物 ŀ ŋ N **≥**⁄ 寒帶 發 言 移 テ 帶 屬 頂 ハ IJ , シ 嘗 先驅 居 木 是 來 テ Ŀ 炒 達 ヺ 草 ŀ 樹 木 殘 中 テ ボ 7 10 ス n シ 平本まご 矮形 グ 力 ୬ 瓜 林 麻 布 IJ 央 モ N テ 溫 シ ダ 機 其 舊 ラ 哇 最 黄 デ 最 テ ガ ガ 處 會 之 居 噴 百 1 12 領 高 終 デ = 植 돗 火 域 = ナ 限 層 Æ N 3 生 五生 第 炒 IJ 單噴 П = モ

外同屬二種

ねずもどき、

やまもも、

かなめもち、

ふかのき諸屬

・モノガ

アリ高サ五米位

ノ低叢 =

が林ヲ

類

他

地

衣

ガ

7

n ガ

其周圍

八外

面ヵラ次第

ガ

押

セ

テ

來

テ 居

其

瓜

哇 酢

テ

ニハ分布ヲ

n

=

ガ

多大デ ナモ

ァ

 $\widehat{6}$ 七六兎モ

叉 Junghunh 氏ノ

實見

Ħ

瓜哇

高 ナコ カラ鹽

山

ノデモ 北西季節風 のき、

遠ク迄運ブ、是ハ歐洲

ノ例デアル

ガ瑞西ノ山中

亞

弗

利 7

加北岸少クト ソ シ

モニ百五十「キ 强イノニ

ロ」ノ處 度斯樣·

テ風

ナル

ŀ

・可ナ

リナ重サノ

ッ Þ

= ŀ

ガ アル

百年ニ

ŀ ヲ

ガ

吹キ

送ラ イ時代

レ所謂鹽雹

ヲ降ラセ

其大キ

シ 風

ŀ

鳥

二運

,

デアル、

禾本、

石南、蘭等子實ノ微小ナモノ

ガ風デ飛散

ノハ言フ迄モナク

あかも

ŏ,

Ŕ ß

せもも、 モ

S

さかきナド

ガ鳥デ運

レルノモ明デアル、

蘭領印度地方ハ十一月カラ四

[月迄

ガガ强

ク叉二千米以上ノ高層

ハ南東風ガ年中吹テ居ル、

尙 其他ガア ナ dendron 二種、 之ニ對シ最近一八八七年ニ噴火 テ居ル ずもどき、 ル櫻草(Primula imperialis)ハゲデーニハナク反對ニ Albizzia montana ハ前者ニ ホ此邊ニ 樹枝 ハ裸地ヲ好 間近ナ山 Eurya, Nepenthes, Rapanea, 8 ハ皆着生蘚類ニ被ハレ其下草ニハ櫻草、 ハうつぼかづらノ一種モアリ又すのき、 其カラ山 Gaultheria 二種、 デモ分布 ひのき、 ノデアルガ未ダ移來スル機會ヲ得ナイノデアル ノ外斜面ニナルト瓜哇酢木ノ外ニおほのぼたんのき、 ほるとのき、 一樣デナイノモアルガ然シ前記植物 **≥**⁄ Ficus diversifolia, Anaphalis, Myrica, Albizzia, Symplocos 门種、 タゲデーハ火口ハ岩石其マハノ裸地 Pleopeltis, ひさかき諸屬ノ樹種、 Lycopodium 蓼、苺、みづ、うはばみさう、毛莨諸屬 石南ノ類ハ森ノ中デハ着生植物ニナリ根本ニ膨レタ玉ガ出 かし二三種、 ガアル、 ノ多ク ハ瓜哇ノ デ 尙ホ面白イコ メ其上斜て なぎ一種ナドガ次第 たいみんたちばな、 高 面 山 一般 、Vaccinium 二種、 ŀ ナイ、 = 3 ニハパン モノ、たうちくらん ŋ 前者ハ陰草デアリ 分布シテ居リ此 こ丈高 ゲラン **まんりゃう、** Elaeocarpus 四クナル ゴー

ノ美觀ニ接シ得ナイ、

是レハ瓜哇高

山ノ特徴デアル

瓜哇ノ高山植物ト植物帯

來 アル・ ŀ シ ガアリ其ガ皆能ク發芽シタサウデアル 漿果ヲ哺食スル 又 KOORDERS 鳥 = 氏ガ鳩ノ胃ノ中カラ瓜哇山桃ノ種子ニ未ダ果肉ノ着イテ居ルノヲ二百以上モ 種 ラ鳩 (Columba oxyura, 7 此等ガ如何ニ分布ヲ援ケラ居ルカガワカル、 C. porphyrea) トつぐみニ似タ黒 イ鳥 (Turdus fimidus) 我邦高山植物 取出シ ヌ

要ス 分布モ氣候ノ變化以外此等ノ事實ニ依ルコトモ多イコト ルニ瓜哇 高山 植物 ハ下界カラ次第二推シ移ッタモノデハナク大部分ハ高 ト思ハレル 處 カラ高い 處 ~ 上 層 流 7 渡 リリ鳥

ヲ介シァ ノ要素ヨリハ却 カラ山 移來 頂ノ「フロラ」 ラ南弗及ビ歐亞高 タモノデアル、是レ ハ割合ニ未ダ 山 カラノ移來要素ガ多 ハ前記キリマンデャロデモ 貧弱デアリ役ッテ植 イ (6、9)、所ガ瓜哇ノ 生 同様デアッテ、 ハ高地程急ニ單調 アノ古イ山デモ Щ ニナリ我邦 々ハ皆新 ァ シ 高 ク且ツ孤立的デ 高 Щ 地 ノ様 プ植物 三百花 ハ

麓

書

目

- AKKERSDIJK, M. E., Caldera of the Tengger-Mountain. Fourth Pacific Sci. Congress, Java. Guide Book. 1929
- (2) (4) Beumée, J. G. B., Djokja-Tengger-Soerabaja. do.
- DOCTERS V. LEEUWEN, W. M., Tjibodas. do. Tankoeban Prahoe. do
- 5 ENGLER, A., Pflanzengeographie. Kultur der Gegenwart. 3 Teil, 4 Abt., 4 Bd. 1914. W., Volcanic Science in Past and Present. Science in the Netherlands East Indies. Amsterdam. 1929. p. 80
- \Im Ernst, A., Die Besiedelung vulkanischen Bodens auf Java und Sumatra. Vegetationsbilder von Karsten und Schenck. VII.
- (8) von Faber, F. C., Die Kraterpflanzen Javas in physiologischökologischer Beziehung. Lands Plantentuin, Buitenzorg. 1927 Arbeiten aus dem Treub-Laboratorium
- 9 Tobler-Wolff, G. u. F. Tobler, Vegetationsbilder von Kilimandscharo. Heft 2 u. 3. Vegetationsbilder von Karsten und Schenck. XII

ノ下草ハ主ニよもぎ (Artemisia vulgaris L.) デアル

說 明

圖

大キイ葉ヲ立テ並ベテ居ル、着生及蔓生植物ハ殆ド無ク只さんせうもどき靨ノ Embelia coriacea Wall ガ生エカブサッテ居ル 純叢林ヲナシテ居ル、幹ニハ枝ノ落痕ガ目立ッテ見エル、下草ニハ矢張噴火口植物デアル Pleopeltis Féei v. A. v. R. ハ二米バカリノ灌木ヲナシ諮處亞硫酸ニョリ枯死シタ叢モ殘ッテ居ルガ、火口ノ外緣ニハ廣イ叢林ヲナシ火口ヲ距ル二百米ノ處デ高サ六七米ノ單 タンク バンプラフー 火山(二〇八四米)ノ Vaccinium varingiifolium Mrq. ノ叢林、此植物ハ有名ナ噴火口植物デ、火口 ガ蔓衍シひとつばニ似テ

テンガー山腹プロモ登山路ノ木麻黄林 (Casualina Junghuhniana Mro.) (佐竹氏寫真)

及其疎生シタ處ガ廣イ地域ニ渉ッテ居ル、幹ハ單調ニ森立シ枝條ハ細裂シ輪廓無クポカシテ居ルノデ何處ヤラ頼ナイ物寂シイ感ジヲ興ヘル、 此木麻黄へ瓜哇山地ノ開放シタ處ニ生育シテ森林ノ先驅ヲナシ千五百乃至二千七百米ノ間ニ分布スル、 テンガー山ハ新シイ火山デアルノデ此森林

ト右側(火口側)トデ發育ノ達ガアル、其間ニ敷詰メテ居ルノハ灌木生やまははこ (Anaphalis viscida DC.) ト禾本トデアル ○第三圖 テンガー外輪山ムンガル峠(二四○○米)ョリ東方高地プナンジャアン (約二七○○米)ヲ望ム、樹木ハ皆木麻黄デアル、 尾根 ノ左側

〇第四圖 テンガー山ノ外輪山高地プナンジャアン(約二七〇〇米)ョリ南方ヲ望ム(佐竹氏寫眞)

ブロモ火山、ウィドダーレンヲ越エテ外輪山ノ對側ガ十「キロ」ノ彼方ニ横

前ノ叢林ハ Rhododendron, Vaccinium ナドデさるながせガ菪イテ居ル 下ニ見ユルハ大火口原ノ砂海(約二二〇〇米)其奥ニハバトック山、 ノ條満ヲアラハシ一草ノ見ルベキモノガナイ、此林カラ頂上迄二時間半乃至四時間、頂上ニハ噴火口ガアリ一九一三年ニ最近ノ噴火ガアッタ、 ニー線ヲ劃シ其奥ニハチマララワン山ト最後ニ秀麗ナ瓜哇ノ主峯スメルー(三六七六米)ガ見エル スメルー山(三六七六米)ニ於ケル木麻黄林ノ上限(佐竹氏寫眞)、木麻黄林ハ其上限デ矮生ニナリ其上ハスか火山礫ノ裸地デ降雨浸蝕 手

七年デ火口附近ニハ ノデ森林ガ頂上ノ平坦部ノ縁迄押寄セテ居ル、遠ク左方ニ見エルハサラック山(二二一〇米)デ是モパンゲランゴート同様ノ年輩デアル、サラッ 右麓此山陰ニ當ル處ニボイテンゾルフ植物園ガアルノデアル ゲデー(二九八一米)噴火口東側ヨリ西北西ニ姉妹峯パンゲランゴー(三〇六〇米)ヲ望ム(佐竹氏寫眞)、ゲデー最終ノ噴火ハ一八八 Vaccinium, Rhododendron, Gaultheria ナドガ點々移來シテ居ル、パンゲランゴーハ最終ノ噴火ハー六六九年頃デアッタ

瓜哇ノ高山植物ト植物帯